(二)（日曜）（月曜及祭日の翌日休刊）　明治四十二年六月二日　京城新報　第百廿四號（水曜日）

▲美術半衿帶上其他紐類各種　京城明治町一丁目　金ゴ商店

夏季の衛生

暑氣頓に加はりて心身共に懶らんとす、夏は人間の安息期にして天然に接することの多き最も樂しき期節なれども、人事は到底万全を期することは能はざるか、此樂しき期節には最も忌はしき流行病發生の怖れあり是を未前に防衛して樂しき夏期の生活をなさんには衛生に注意するの外あらじ。衛生の進歩は文明を意味す、衛生思想の發達せるとせざるとを以て文明の程度を卜し得るとは事實也。文明の進むに從て衛生の設備も進む衛生設備の進歩するに從て死亡率は減少す、人間の最も貴きものは生命也、此貴き天寿を完ふするには唯夫れ衛生に注意するにあるのみ。

韓人は由來衛生思想に乏しく、下流社會の如きは其不潔なる其に酸鼻すべき也、上流社會と雖も便器を室内に置くのみならず、婦人の如きは一生沐浴せざるもの少しとせず、從て住居の周圍も不潔にして夏期に於て鼻を掩はざれば其附近を通行する能はざる也。家屋に沿へる溝或は小川の如きは糞尿累々として見るさへ病を發せんとす、斯く衛生に頓着せざる國民と雜居する在住邦人は最も衛生に注意せざれば頗る危險也。幸に保護政治實施以來着々衛生に注意を拂ひて、糞尿の放捨、溝渠の掃除等を勵行せしむるを以て多少面目を革めたりと雖も、容易に永き習慣は革らざるか、各人自らも注意する迄に至らず、官憲よりの干渉なければ依然として溝渠は糞尿を以て埋るが如きに至るを恬として顧ず。故に嚴勵以て干渉することなく放置するに於ては到底此惡習慣は改善するとなし、假令多少の不平ありと雖も、嚴酷なる干渉によりて清潔法を實施せしめて衛生思想を喚起せざる可らず在住邦人の居住區域は年毎に著しく清潔となり、民團の衛生機關も漸次整備し來れるは甚だ喜ぶべし。更に其完備を期すると共に各人互に衛生に注意せざる可らず、而して專實に於て韓人等に模範を示して衛生思想を涵養せしひるは相互の利益也。

暑氣の益々加はると共に最も注意せざる可らざるは食物類、魚類の如き肉類の如き飲料の如き其腐敗を辨せずして販賣するものなきに非ず、之を知らずして食したる爲に發病するの例は決して乏しからず、此等は各個人が互に注意すべきは無論なるも、警察及び民團役場に於ても之が嚴重の取締を要す。

頃者既に類似虎列刺發生したるも、唯一人に止りて蔓延せざりしは幸也、然れども今に於て防衛せざれば恐るべき病毒發生したる曉に於ては悔とも及ぶ可らず。古より流行病の蔓延は戰爭よりも恐るべしとなす然り激甚なる病毒は遙に戰爭の禍に優る也此禍害を未前に防衛するは唯夫れ衛生の嚴守にあるのみ。

外報一束

●佛國製艦計畫　佛國海軍會議は千九百二十年に至るまでに更に二萬二千五百噸の戰鬪艦卅三隻を建造せんとを要求せる由

●同盟罷業依然　米國ジョージヤなる同盟罷業は依然繼續し一般に迷惑を感じ居れり特に下級人民の苦痛は名狀すべからず警察及び守備軍隊は黑白二人種間に爭鬪を惹起せんとを憂ひ流血の惨を見るとなからしめんとて警戒怠りなき由

●獨紙と日本　東亞ロイド紙は獨逸人に對し日本語を學び政治上の關係を改良し又日本の通商に關する進歩を了解し過去數十年間に於ける誤解を避くべき事を勸告せり又明瞭なる獨逸に關する智識を日本全國に普及して他國が日獨兩國間に惡感情を惹起せんとするが如き計畫を防がんことを希望すと述べたり

●ルル氏の大獵　ルーズヴエルト氏は五月二十七日までに八十六頭の大獸と八百頭の小獸とを獲たり

●耕主側の態度　二十七日の布哇耕主會議は日本勞働者の要求を拒絶する事に決したり同盟罷工者の數は八千に達す耕主の態度強硬ならんには生活に困難を告げ同盟罷工は窮竟失敗に歸す可しと

雜報

●韓皇后水原行啓

韓皇后には豫定の如く昨一日午前十時半特別列車にて南大門驛發完興君、李首相、閔宮相、趙農相、尹侍從院卿小宮次官其他の宮內府官吏を隨へ水原勸業模範場に行啓本多場長の先導にて場內を觀覽し午後四時五十五分南大門驛歸着直に順路德壽宮に立ち寄られ勸業模範場の模樣など物語りあり同六時昌德宮に還御せられたり當日南大門驛には各部大臣次官局長愛國京城兩婦人會員學校生徒等多數奉送迎したり

●特許法の改正

日本現行特許法は今回愈々改正する事に決定したるを以て韓國特許法も亦改正の必要あり目下統監府に於て改正案の起草中なる由なるが今改正の要點を掲ぐに左の左しり生ずる弊害を矯正する事

二、特許出願に對し出願權の歸屬者に付規定を設ず

三、軍事上の發明に付きては秘密特許の手續を定むること、且軍事上必要なる場合に行はる特許發明の實施又は收用規定を新設す

四、特許權の効力の及ばざる場合を規定す

五、特許權相續期限の延長を特許す

六、他人に冒認せられたる發明に付其の特許權を與へることを得る事

七、利用發明に付原特許權者に三年間優先權を與へること

八、特許料金を輕減し且無資力者に對する料金納付の猶豫並に減免の規定を新設す

九、無効審判の請求は利害關係人に限り又審査官に審判を請求する事を得せしむ

十、審判以外別に抗告審判の制度を設く

十一、民事又は刑事の訴訟に付特權の効力又は範圍に關し特許局の査定審又は他裁判所の判決を待つの必要あるときは裁判所は其の訴訟手續を中止する事を得せしむ

十二、特許法の實施期は未定なるも多分九月一日よりなるべしと

●總務長官候補

曾禰子統監代任の上は專任總務長官を置くべきは必定なるが目下其候補者として數へらるゝ人々は奥田義人、仲小路廉、田健次郎安廣伴一郎等の四氏にして就中安廣氏は曾て曾禰子が農商務大臣たりしとき次官たりし關係も有れば大抵は同氏に決定するならんと云ふ

●密漁取締方法

清國の密漁船取締に就ては關稅局が之れに當り暴に鎭洋丸を平安南北道に派遣し巡邏せしめつゝあることは既報の如くなるが若し密漁船を逮捕したる場合は之れを理事廳に引渡し理事廳は統監府に申請し統監府は清國に交渉する筈なりといふ

●宮內宮官等俸給令　同令一部改正の件は布達第二號を以て昨日の官報にて發表されたり

●大臣會議休會　昨一日は大臣及參與官會議の定例日なりしも韓皇后水原行啓と統監不在の爲め休會

◎東拓總裁東京出發　東拓總裁は嶺秘書役長を隨へ今二日東京出發歸任する旨同社へ電報ありたり

宇佐川東拓總裁は嶺秘書役長を隨へ今二日東京出發歸任する旨同社へ電報ありたりと

●派遣隊一部上陸　臨時派遣隊司令部は二十九日に第一聯隊第一大隊第三大隊は三十一日に何れも釜山に上陸し夫々任地に向へりと

●韓國狩獵法の草案　農商工部は狩獵法制定の目的を以て目下草案の起草中なるが成案として發表さるゝ迄には尚ほ多少の時日を要すべしと云ふ

●東拓預金銀行增加　東拓會社が其遊金を預け入るべき銀行は其の筋の認可を得て確定し居るもの外に今回大阪浪花、北濱及び鴻池の三銀行を增加したりと云ふ

◎魚附林の調査　農商工部水産局が魚附林の經營に就き計劃するところありとの事は既報の如くなるが同局に於ては愈々之れを實行すべき筈にて山林局と交渉を爲し之れが適所等目下調査中なりと云ふ

◎タイムス社員と接待　昨紙所報の如く倫敦タイムス記者チロル、モリソン兩氏は來る四日着京の筈にて就き其筋にて是迎の爲め橋本仁川副理事官を釜山へ派したるが尚一行漢城中は諸事の便宜を與ふる筈なりとい

辯護士大會役員撰擧の際掴合を生じ檢事等の立合にて漸く撰擧を濟す會長に菊地

●熊谷民長の銷職　既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿鐵修學旅行として三十一日入京京釜支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七發車にて右一行を民團役所

●原島技師の出張　農商工部農務課の原井氏は土木課長と同行人技師は土木課設計係長を命ぜられたり

●八島永井技師の任命　建築所の妻師永檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

●柳原署長の出張　南部警察署長桐原淳吉氏は昨夜七發車にて京城に向け出張し

●納稅義務ご兩班　韓國從來の制度は兩班の勢力旺盛なりしを以て租稅の納入は凡て其以下の細民位のみ限られたる狀態なりしが近來は各種の租稅悉く平等主義にて何人と雖も納稅の義務を負擔せざるを得ざるとなり兩班連は頗りに不平を鳴らしつゝありと

◎漁業出願者の激增　免許漁業の出願者は昨今に至り頓に激增し先月末日迄に農商工部水産局に接受したる件數は實に九百二十三件の多數に達したる由而して其內譯は韓人四百二十件日本人二百九十九件團体出願二百五件なりと尚此外許可漁業の出願件數は九十八件にして內九十二件は既に許可濟となれる由

◎滿洲守備隊の交代　滿洲鐵道守備隊（六箇大隊）は四十年二月二十六日在鄕各兵科の豫、後備役下士卒中の志願者を募集して編成（將校は概ね現役）したるものにて其の下士卒の任に當らしむることを決議し又三十日西大門內圓覺社に於て城內面主坊會隨時總會を開きて同上觀光團入京の日より退京の日迄坊內子戶に日韓國旗を掲揚し尙夜間は點燈を爲すべく且會員中より五十名を選出して停車場に送迎することを決議したりと

●滿鐵經濟顧問入京　南滿州鐵道會社東亞經濟調査局顧問チース博士は經濟事項取調べの爲め安東縣を經て來る十日頃入京すべしといふ

◎漢城病院の時間改正　昨日より民團の手を離れ安藤氏の經營に係りたる漢城病院は午前八時より午後二時迄外來診療時間とし往診は患者の望みに任せて何時にてもなすべしと因に安藤氏は從來東京神田駿河臺山龍堂の副院長を勤め學識經驗共に深く刀圭界の名手なりといふ

◎故藤井氏遺骨　過日假葬を營み茶毘に附したる故漢城手形組合理事藤井定吉氏の遺骨は今二日朝發の急行列車にて親戚山下氏郷里鹿兒島へ護送せらるゝ由なり

●群山米の外國輸出　昨年中群山港より神戸を經て英米二國へ輸出せし米は二千八百磅に上れるが其結果群山米外國市場にて好評を博し今後出穀益々增加すべき見込あるより當業者中には來る七月商船會社がタコマ航路を開始するを機とし同地よりタコマへ直輸出を開くの計畫を立て居る由なり

●國有地調査方針

慶支部が本年度に於て國有地の實査に着手する事は既記せし所なるが調査の方針に關し當局者の語る所左の如し

▲調査事項　今回調査すべきは慶支部所管の國有地にして其種類は驛屯土、各宮庄土陵園墓附屬土地及其他の國有地なるが土地筆に付き所在、地番、地目、面積、四標、舊名稱、實納小作料、等級及査定小作料、小作人の住所姓名等なり

▲調査班設置　調査に從事せしむる爲め財務監督局に調査班を置く筈なるが其人員は調査員二名、測量員一名に調査員は主として土地の調査及境界及境界の査定小作料標準地の選定及其測量、等級及小作料の査定、隱土の調査、小作人の當否土地以外の權利即伏稅等に關する調査、其他の整理に從事せしめ測量員は班長の指示に依つて土地の測量、製圖、面積の計算に從事せしむ

▲調査順序　財務署にては調査班到着前に豫め帳簿等の蒐集舊會社其他土地精通者の調査面長及小作人等に對し調査方法及心得を忘れしむ、殊に旭邦氏の「統監の交迭」の周知方法、小作人をして其小作土地に標木を建てしむる事の準備を爲さしむ又調査班が調査に着手する時は所轄財務署の筆帖と相俟つて正に論壇の異彩たり「人物評判記」又面白く擒縱自在、活殺縱橫一通會の關係人物をして躍如たらしむ次に韓國に於ける成効者の談話、朝鮮の任に當らしむることを決議し又三十日西大門內圓覺社に於て城內面主坊會隨時總會を開きて同上觀光團入京の日より退京の日迄坊內子戶に日韓國旗を掲揚し尙夜間は點燈を爲すべく且會員中より五十名を選出して停車場に送迎することを決議したりと

●滿鐵經濟顧問入京　南滿州鐵道會社東亞經濟調査局顧問チース博士は經濟事項取調べの爲め安東縣を經て來る十日頃入京すべしといふ

◎漢城病院の時間改正　昨日より民團の手を離れ安藤氏の經營に係りたる漢城病院は午前八時より午後二時迄外來診療時間とし往診は患者の望みに任せて何時にてもなすべしと因に安藤氏は從來東京神田駿河臺山龍堂の副院長を勤め學識經驗共に深く刀圭界の名手なりといふ

◎故藤井氏遺骨　過日假葬を營み茶毘に附したる故漢城手形組合理事藤井定吉氏の遺骨は今二日朝發の急行列車にて親戚山下氏郷里鹿兒島へ護送せらるゝ由なり

●群山米の外國輸出　昨年中群山港より神戸を經て英米二國へ輸出せし米は二千八百磅に上れるが其結果群山米外國市場にて好評を博し今後出穀益々增加すべき見込あるより當業者中には來る七月商船會社がタコマ航路を開始するを機とし同地よりタコマへ直輸出を開くの計畫を立て居る由なり

●國有地調査方針

慶支部が本年度に於て國有地の實査に着手する事は既記せし所なるが調査の方針に關し當局者の語る所左の如し

▲調査事項　今回調査すべきは慶支部所管の國有地にして其種類は驛屯土、各宮庄土陵園墓附屬土地及其他の國有地なるが土地筆に付き所在、地番、地目、面積、四標、舊名稱、實納小作料、等級及査定小作料、小作人の住所姓名等なり

▲調査班設置　調査に從事せしむる爲め財務監督局に調査班を置く筈なるが其人員は調査員二名、測量員一名に調査員は主として土地の調査及境界及境界の査定小作料標準地の選定及其測量、等級及小作料の査定、隱土の調査、小作人の當否土地以外の權利即伏稅等に關する調査、其他の整理に從事せしめ測量員は班長の指示に依つて土地の測量、製圖、面積の計算に從事せしむ

▲調査順序　財務署にては調査班到着前に豫め帳簿等の蒐集舊會社其他土地精通者の調査面長及小作人等に對し調査方法及心得を忘れしむ、殊に旭邦氏の「統監の交迭」の周知方法、小作人をして其小作土地に標木を建てしむる事の準備を爲さしむ又調査班が調査に着手する時は所轄財務署の筆帖と相俟つて正に論壇の異彩たり「人物評判記」又面白く擒縱自在、活殺縱橫一通會の關係人物をして躍如たらしむ次に韓國に於ける成効者の談話、朝鮮

●道書記官會議

昨一日より內部製圖室にて開會さるゝ筈なる道書記官會議は各員入京早々の事とて昨日は打合會に止め本日より開會すべく事項は內部より提出すべき諮問事項、訓示事項及各書記官より意見を開陳して協議會を開く由にて內部の協議事項終了次第各部に於て專管事務に就き會議を開く筈なりと本紙公人和人の欄に於ける姓名宮所と重復の嫌あれど今出席各書記官の姓名及び宿所を掲ぐれば左の如し

漢城府菱田義民（南山町一丁目）忠北道神田卓男（蓬萊町一丁目）鈴木重民氏宅）全北道竹崎太六郎（壽町浦尾旅館）黃海道澤田天三（同上）咸南道金谷充（同上）全南道小林重威（蹟町山本旅館）慶南道田結柳三郎（同上）平南道大木安之助（同上）慶北道竹內卷郎（南山町巴城館）平北道本木房吉（旭町不知火）江原道多賀高延（永樂町三宮內府官舍青山氏方）咸北中井喜太郎（初音町二ノ三）

因みに京畿道鹽川書記官は本日入京の筈にて忠淸道沼澤書記官は病氣にて朝鮮中なり

●邦人郡主罷の任命　今般日本內地より任命さるべき第一回の二十四名の郡主事は不日着任の上夫れ〳〵各道に宜り配置さるべしと

●獨立通信社の設立　今回當地明治町二丁目に標題の如き通信社設立されたるが主幹は牧野務氏にして一切の通信を營むべしとの事なり

◎朝鮮六月號　時事評論は例に依り警拔にしてキビ〳〵しく爬羅剖明毫も餘す所なし論說、研究、富源、經濟、主張、人物評判記、文藝、資業資料等の諸欄又有益にして趣味多く讀者をして覺えず卷を終ふを忘れしむ、殊に旭邦氏の「統監の交迭」は觀察奇警、叙述奔放流麗なる筆華と相俟つて正に論壇の異彩たり「人物評判記」又面白く擒縱自在、活殺縱橫一通會の關係人物をして躍如たらしむ次に韓國に於ける成効者の談話、朝鮮

社告

韓國政府が利權回收の第一銀行より銀行券取上げ

一着手として我第一銀行の特權を奪ふ

企てつゝあることは最早公然の秘密にして是れ吾人日本人にとりては大なる政治問題なり本紙は此際韓政府及び第一銀行の利害と離れたる本問題に對する獨立の意見を世に紹介せんとす仰ぎ願はくば我愛讀者諸君の微意を諒せられ續々御寄稿あらんことを

京城新報社

六月

服務年限は前記召集日より起算して二年四箇月及び三年四箇月の二種なるが前者中再服役せざる者は此の際採用任期滿了すべけれは本月下旬を期し各大隊の一部を交代補充する事となりたりと

●補助學校と學部　學部にては過般釜選を通じ私立學校中三十校に對し公立普通學校の代用として各一校に日本人教師一名韓人教師二名を補助したることは既報の如くなるが此程來補助教員の欠員を補充せんとの趣旨にて就き之等補助學校視察の爲め學部にては今廳員を左の如く出張せしめたり

二十八日　京畿、江原、兩道、水井主事、李主事、京畿、黃海兩道、田中主事、金主事、三十日　京畿、咸南兩道、同日慶南、平南、平北兩道、山口主事、篠塚屋、同日忠南、柳田事務官、姜主事、越主事、三十一日　邦人觀光團ご送迎　去月廿九日奬忠壇に於て總會を開きたるが出席者は約五十名副坊長の擬案を爲したる後日本人觀光團渡韓の際は民團より五十名の委員を選出して送迎

●熊谷民長の銷職　既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿鐵修學旅行として三十一日入京京釜支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七發車にて右一行を民團役所

●原島技師の出張　農商工部農務課の原井氏は土木課長と同行人技師は土木課設計係長を命ぜられたり

●八島永井技師の任命　建築所の妻師永檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

●柳原署長の出張　南部警察署長桐原淳吉氏は昨夜七發車にて京城に向け出張し

●納稅義務ご兩班　韓國從來の制度は兩班の勢力旺盛なりしを以て租稅の納入は凡て其以下の細民位のみ限られたる狀態なりしが近來は各種の租稅悉く平等主義にて何人と雖も納稅の義務を負擔せざるを得ざるとなり兩班連は頗りに不平を鳴らしつゝありと

◎漁業出願者の激增　免許漁業の出願者は昨今に至り頓に激增し先月末日迄に農商工部水産局に接受したる件數は實に九百二十三件の多數に達したる由而して其內譯は韓人四百二十件日本人二百九十九件團体出願二百五件なりと尚此外許可漁業の出願件數は九十八件にして內九十二件は既に許可濟となれる由

◎滿洲守備隊の交代　滿洲鐵道守備隊（六箇大隊）は四十年二月二十六日在鄕各兵科の豫、後備役下士卒中の志願者を募集して編成（將校は概ね現役）したるものにて其の下士卒の任に當らしむることを決議し又三十日西大門內圓覺社に於て城內面主坊會隨時總會を開きて同上觀光團入京の日より退京の日迄坊內子戶に日韓國旗を掲揚し尙夜間は點燈を爲すべく且會員中より五十名を選出して停車場に送迎することを決議したりと

●滿鐵經濟顧問入京　南滿州鐵道會社東亞經濟調査局顧問チース博士は經濟事項取調べの爲め安東縣を經て來る十日頃入京すべしといふ

◎漢城病院の時間改正　昨日より民團の手を離れ安藤氏の經營に係りたる漢城病院は午前八時より午後二時迄外來診療時間とし往診は患者の望みに任せて何時にてもなすべしと因に安藤氏は從來東京神田駿河臺山龍堂の副院長を勤め學識經驗共に深く刀圭界の名手なりといふ

◎故藤井氏遺骨　過日假葬を營み茶毘に附したる故漢城手形組合理事藤井定吉氏の遺骨は今二日朝發の急行列車にて親戚山下氏郷里鹿兒島へ護送せらるゝ由なり

●群山米の外國輸出　昨年中群山港より神戸を經て英米二國へ輸出せし米は二千八百磅に上れるが其結果群山米外國市場にて好評を博し今後出穀益々增加すべき見込あるより當業者中には來る七月商船會社がタコマ航路を開始するを機とし同地よりタコマへ直輸出を開くの計畫を立て居る由なり

●國有地調査方針

慶支部が本年度に於て國有地の實査に着手する事は既記せし所なるが調査の方針に關し當局者の語る所左の如し

▲調査事項　今回調査すべきは慶支部所管の國有地にして其種類は驛屯土、各宮庄土陵園墓附屬土地及其他の國有地なるが土地筆に付き所在、地番、地目、面積、四標、舊名稱、實納小作料、等級及査定小作料、小作人の住所姓名等なり

▲調査班設置　調査に從事せしむる爲め財務監督局に調査班を置く筈なるが其人員は調査員二名、測量員一名に調査員は主として土地の調査及境界及境界の査定小作料標準地の選定及其測量、等級及小作料の査定、隱土の調査、小作人の當否土地以外の權利即伏稅等に關する調査、其他の整理に從事せしめ測量員は班長の指示に依つて土地の測量、製圖、面積の計算に從事せしむ

▲調査順序　財務署にては調査班到着前に豫め帳簿等の蒐集舊會社其他土地精通者の調査面長及小作人等に對し調査方法及心得を忘れしむ、殊に旭邦氏の「統監の交迭」の周知方法、小作人をして其小作土地に標木を建てしむる事の準備を爲さしむ又調査班が調査に着手する時は所轄財務署の筆帖と相俟つて正に論壇の異彩たり「人物評判記」又面白く擒縱自在、活殺縱橫一通會の關係人物をして躍如たらしむ次に韓國に於ける成効者の談話、朝鮮

近事片々

●豫定の如く韓皇后には昨日水原模範農場に臨せらる文武百官扈從し金色燦然たり

●韓人窮追は社會問題也故に社會政策の見地より積極的の設備こそ最も肝要

●統監更迭の發表は茲一兩日の中にあるべしと或は然らむ幕の長きは人心倦怠を增すべし子統監たらば伊公の志を繼承して外債を起して經濟界を賑はすべきか是疑問

●曾禰子は經濟問題に於は伊公よりも幾分注意を拂ふべき歷史を有す或は然らむ

●例の李容九君新統監來韓と同時に歸韓せらるるべしと其間の魂膽は知る人ぞ知る也

●宋秉畯曉も伊公の許諾を得て讀解せらるゝとの噂所人等の裏面にある策士等今如何

●李根澤の活動片々擾に報じたり彼が蹶起となりての奔走は果して効を奏すべきか

●李容翊死して彼の政敵と見做す者は完用のみ今や政敵と接近しつゝありとは眞乎

●保護政治の秩序立ち陰謀の時代去ると共に根澤等の立場失ふ今は驚くも甲斐なし

●新統監最初の施政如何なるべき欽銘として慎案政策に依るか將た新機軸を出すか

●趨多の懸案問題有り新統監は何事より解決に着手すべきか恐らくは經濟問題ならむ

●總務長官は石塚君を以すべし或は新人物を以てせんかとの兩說あるも果して如何

●田中宮相鮮任問題亦持上る而も後任候補者の暗鬪盛也と事實ならば嘔吐を催す也

●候補者として敵へらるゝもの清浦子伊東子岩倉公等を最となす中原の廉は誰れか

●高商問題首相より泣きを入れて我面片付きたるも裏面の約束履行は未だ決せず

●張本人たる岡田次官の引退は素より當然なるも文相として其儘に放くは些と姑息也

●相撲常設館發會式は本日擧行せらる東西力士の實力如此勝負によりて證據立らる

●祥行以來實力衰へしと云はれたる常陸山樂外に元氣旺盛梅との勝敗は五分々の評

●新大關大刀山頗る元氣駒ケ嶽も亦旺盛此勝敗は最も好角家を唸らせるに足らん乎

●中檢の藝妓衆へ

（梁助より）

藝に新町見物を書いて花柳子から一本參らされて一寸スッ込んで居たが中檢の姐さん達の雲氣地なしと聞いては默まつては居られ、チー、ヤイ一休金体中檢と云ふナー何時出來たんだい何んでも理事廳令で檢番を設けると云ふとイなつて寄々相談のあつたことは聞いて居たが、何時の間にヤーこしらへたんだ、成程本年迄の習慣を破つて俄かに檢番を設けるちゆうと幾分か迷惑もあつたであらふ、其位は俺も合點して居る、併し何れこしらへる位なら大々的披露をして花柳界の新紀元とせにやならんじやないか、うすー、聞けば、其計畫がないでもない何んでも御披露をして別嬢さん達が老居をする筈であつたけど、其れが何んでも掬翠の文之助が宣目になつたと云ふ的に文之助がそんなに豪いのかへ、ナンダ文之助が惹る迄待つて呉れと頼まれた、馬鹿吐け宣目が何時癒るのだい、ぐずぐず爲て居ると熱くなつて出來ないぞ、檢番の披露に藝妓衆が出て芝居をするちゆうナー大愛結構だ、是非演つて呉れ、井門の蜻蛉、政子、清華亭の三次、たま、花月のれをん、れ辰、た千代裙抔は京城の花柳界では牛耳を採つて居る仲間じやないか、れ客の鼻毛を讀むばかりが能じやないか、れ前さん達の藝妓は意氣地なし奴、ヤイ腹が立つか無念なか口惜いか怒れ〳〵目玉の飛出る程怒れ、腹が立ちや意地を張れ、ナニ親方が不熱心だウム……其處もあるけれど、れ前さん達の腕で親方を說き附けるのは譯のない話だ、親方は皆粹人ばかりだうんな野暮亭は居ないや、若し解らん事を吐かしや棟助が承知せぬ、ナンテ豪らうなことを云ふても棟助中々度胸が小さいのだ、チー姐さん達怒らずと俺の云ふ事をよく〳〵呑み込んで呉れ何んの此棟助が利前さん達の爲めにならぬ事を云ふものかい、

●明治町の小火

明治町三丁目二十三番戸酒商平田常四郎方店員能勢勘太は妻子と共に同家の二階に住居せる者なるが一昨日午後八時頃同人妻やす(三十)が長男敏夫(二)を二階に寢付かせ自身は下に降りて家人と共に夕飯を喫しつゝありしに突然敏夫が泣出したるにそやすは慌てゝ二階へ上り見れば壁板にある針箱の上に置きたる豆ランプ破裂して火は柱に掛けたる單衣に燃へ移り既に非に迄燃へ移らんとする有樣にやすは人聲を發して家人を呼び大勢寄集まつて漸く消し止めたるが隨分危險の上手に新町見物を書いて花柳子から一本參らされて一寸スッ込んで居たが中檢の姐さん達の雲氣地なしと聞いては默まつては居られ、チー、ヤイ一休金体中檢と云ふナー何時出來たんだい何んでも理事廳令で檢番を設けると云ふとイなつて寄々相談のあつたことは聞いて居たが、何時の間にヤーこしらへたんだ、成程本年迄の習慣を破つて俄かに檢番を設けるちゆうと幾分か迷惑もあつたであらふ、其位は俺も合點して居る、併し何れこしらへる位なら大々的披露をして花柳界の新紀元とせにやならんじやないか、うすー、聞けば、其計畫がないでもない何んでも御披露をして別嬢さん達が老居をする筈であつたけど、其れが何んでも掬翠の文之助が宣目になつたと云ふ的に文之助がそんなに豪いのかへ、ナンダ文之助が惹る迄待つて呉れと頼まれた、馬鹿吐け宣目が何時癒るのだい、ぐずぐず爲て居ると熱くなつて出來ないぞ、檢番の披露に藝妓衆が出て芝居をするちゆうナー大愛結構だ、是非演つて呉れ、井門の蜻蛉、政子、清華亭の三次、たま、花月のれをん、れ辰、た千代裙抔は京城の花柳界では牛耳を採つて居る仲間じやないか、れ客の鼻毛を讀むばかりが能じやないか、れ前さん達の藝妓は意氣地なし奴、ヤイ腹が立つか無念なか口惜いか怒れ〳〵目玉の飛出る程怒れ、腹が立ちや意地を張れ、ナニ親方が不熱心だウム……其處もあるけれど、れ前さん達の腕で親方を說き附けるのは譯のない話だ、親方は皆粹人ばかりだうんな野暮亭は居ないや、若し解らん事を吐かしや棟助が承知せぬ、ナンテ豪らうなことを云ふても棟助中々度胸が小さいのだ、チー姐さん達怒らずと俺の云ふ事をよく〳〵呑み込んで呉れ何んの此棟助が利前さん達の爲めにならぬ事を云ふものかい、

●薩摩守は雇員

昨日午前一時三十分頃本町一丁目理事廳前より韓人の車に乘り大和町迄駈けらした揚句請求せる車賃十錢をフイにして薩摩の守を極め込まんとせし橫着者なりしが車夫は中々承知せず同町派出所に斯く〳〵と訴へしかば警官出張して氏名を訪ねしに宮內府執事なりと答へ住所は春町とか或は明治町とか曖昧なる答をなすれば資力窮乏して心ならずも一時中止の悲境に陷りしに各洞省鄭都守の熱心に勸かされて各應分の寄捐を爲したれば今回更に學校の規模を擴張し教師を增聘して大に教育の發達を圖る事となりたれば鄭都守も非常に喜び居れりと云ふ

紳士の遊興振

▲鍋島桂次郎君

今日は統監府參與官外務部長鍋島桂次郎君の遊興振を紹介しよう、最初伊藤公が統監となり初めて赴任するに當り一番困難に感じたのは外交事務である、されば公は何人を撰拔せんかと大に詮議を懲らした結果見當つたのが鍋島君である、尤も公は自身で外交家と以て任じて居るだけ何んでも自身で演る、故に公の下に外交官となるのは恰かも公の通譯役に過ぎないのだ、處が君が赴任后頗る公の氣に入つたと云ふのは君は故閔叟公の血族を受けただけ何處かに緩くりした處もあり其れに性質も圓滿で甘んじて公の通譯役を務むるのみならず碁の相手にも妙を得て得るが故だ、併し君も伊藤公の許に來らざれば今日の如く溫順な人物でなかつたかも知れぬ、聞く君の得意は弄花で去る三十二年初めて在米公使館の書記官として赴任の際太平洋航海中同乘の船客と花合戰を演つて大に勝利を博し乘合せし某は其技に驚かされたとの事である、併し得意の弄花も伊公が極力排斥する爲め近來は非常に謹慎して其遊振りも隨て溫順となつた樓上の人となつた君は頗る熱燗飲み君が登樓の度毎に必ず仲居や藝妓の中に火傷する者が出來る、又君の遊方は所謂シンミリとした方で歌も唄はず騷もせず、時に硯で墨に味噌を擦つてスタ一文を作り愛妓の膝を枕として是を朗讀する、併し君は矢張り花より團子で樓上の人よりは寧ろ屏裏の人である、斯かる人材を空しく團茶の對手や屏裏の人として朽ち去らしむるは誠に惜しき事だと君の友人等は心配して居たが聞けば不遠伊公の手を離れ元の外務省に歸らるゝとし風に資を擲つて進明學校を設立し部內の子弟を教育せしに業より資產あるにあらざれば資力窮乏して心ならずも一時中止の悲境に陷りしに各洞省鄭都守の熱心に勸かされて各應分の寄捐を爲したれば今回更に學校の規模を擴張し教師を增聘して大に教育の發達を圖る事となりたれば鄭都守も非常に喜び居れりと云ふ

●全村燒失

過般全羅南道潭陽郡龍面然鱗里に失火あり全戶數九十七の內燒失家屋九十四、半燒一にして全村殆んど燒失したるが原因は失火にして人畜に死傷なきも前記の如き悽狀を極めたるを以て目下其筋に於ては之れが救護中なる旨內部當務局へ通報ありたり

●細菌發見せず

昨紙所載の虎列拉に罹り死亡せし曙町荒木まさは大韓醫院に於て檢査の結果細菌を發見せざれば眞正にあらずして全く類似症なりしと云ふ

●料理店設論さる

仁川寺町二丁目料理店大江はつと云ふは元京町にて營業し居たるが無屆にして同町に轉居し開業せる爲め警察より營業停止を命ぜられたるに一昨日夫れにも不拘開業し居たる爲め設論を加へられたり

●支那藝妓の逃亡

仁川支那町支那人妓樓主高と云ふは抱ゑ藝妓高金玉(二十)と云ふが支那人二名に連れ出され青くなつて其の筋に屆け出づ

●無屆居住の處分

岡山市上土西川町四番戶無職花房幸は四月十五日以來京城本町七丁目二十三番戶に居留して制規の屆出を怠りしかば南部署にて過料二圓に處せらる

●上田病院慈惠部

龍山老松町上田病院にては今回慈惠部を設け資力少なき患者十名を限り一日八十錢以內の入院料にて治療の需に應ずると云へり

●鹽路湯の開業

鏡路青年會の橫手に洗湯を開業したれば附近の人々は便利ならん

●殺鳥のいろ〳〵

仁川殺鳥遊廓朝岡の文子事松田きくは一昨日上京し大韓醫院に至りしに終列車に乘り遲れしが一夜ドコで假寢をしたるかと朝岡での心配樓の千代野事永友かの(二)と云ふ婆々女郎は一昨日奇麗に足を洗つて素人となる

進樓の顚末

進樓の顚末は母親が病氣だとて郷里に歸つて居るが一昨日六月三十日までの歸樓延期屆を出したりうたが之れには隨分面黑い魂膽が蟠まりて居る由

●つて結構

樂天家の病人、病院で魔睡藥から醒めて「どうしましたね、私は—」

看護婦「アラ、左の れ脚を蛭に嚙まれになつて、今しがた切解したのぢやありませんか

樂天家の病人「あゝそうですか、どうせ左脚はリウマチで惱んで居りましたから却つて結構でさア

●韓語獨習

（韓語）

アナタの時計は何處で、御買ひなされましたか

此の時計は、日本で買ひました

今何時だらう

九時二十分過ぎました

私の時計は、丁度二時半です

コングエイシケヌン、オーデーソー、サーシーイショツ

イシケーヌン、イルボンサー、ナツツ

シバングメッシーンゴ

アホフシ、イシブフンチキツソ

ナーシケヌン、ゴク、ツピーシーバアムイヨ

左記の處に轉居致候

喜町二丁目十番戶

森　柳江

●殺鳥の出張

（殺鳥技師の出張）

殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

●原島技師の出張

農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

●熊谷民長の歡迎會

既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

●八島永井技師の任命

建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

●檢分の爲め

檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

●柳原警長の出張

南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

▲五月の貿易高

五月末迄の東京電報に頒は二百七十八萬七千圓輸出超過九十三萬千圓也

▲辯護士役員撰擧

東京辯護士大會役員撰擧の際個合を生じ檢事等の立合にて漸く撰擧を濟ませ會長に菊地一郎氏を撰擧したるが其結果は左の如し

會長　鍋島桂次郎君

副會長　菊地一郎君

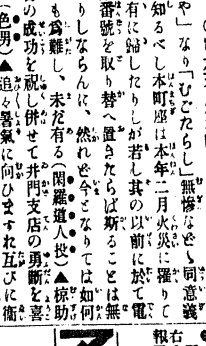
理事　小川平吉君　中村太郎君　小原駒次郎君　鳥居素川君　三浦銳雄君　中島信行君　小山松吉君　鈴木喜三郎君　小山內薰君

▲瀆職議員の保釋

瀆職議員は第一審終了後保釋を免さるべし

（以上一日發）

●眼病藥の大王は永樂町二丁目丸一藥房發賣の富川氏製劑の眞珠白龍丹に限る七十二種の眼病全愈せざる者なし試用の分に限り定價の半額に割引仕候



廣告

一、研磨醬機精米　一千四百石
右驅、賣ス詳細ハ六月一日ノ大韓日報、京城新報、釜山日報ニ廣告ス
明治四十二年六月一日
韓國駐劄陸軍倉庫

一、天氣豫報（自一日午後六時一至二日午後六時）
南の風晴
最高溫度　八五、三
最低溫度　五七、九
（華氏）

一、殺鳥遊廓朝岡の文子事松田きくは一昨日上京し大韓醫院に至りしに終列車に乘り遲れしが一夜ドコで假寢をしたるかと朝岡での心配樓の千代野事永友かの(二)と云ふ婆々女郎は一昨日奇麗に足を洗つて素人となる

一、進樓の顚末
進樓の顚末は母親が病氣だとて郷里に歸つて居るが一昨日六月三十日までの歸樓延期屆を出したりうたが之れには隨分面黑い魂膽が蟠まりて居る由

一、つて結構
樂天家の病人、病院で魔睡藥から醒めて「どうしましたね、私は—」
看護婦「アラ、左の れ脚を蛭に嚙まれになつて、今しがた切解したのぢやありませんか
樂天家の病人「あゝそうですか、どうせ左脚はリウマチで惱んで居りましたから却つて結構でさア

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、八島永井技師の任命
建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、八島永井技師の任命
建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、八島永井技師の任命
建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、八島永井技師の任命
建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、八島永井技師の任命
建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、八島永井技師の任命
建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、八島永井技師の任命
建築所の渡師永井氏は土木課長と同所入島技師は土木課設計係長を命ぜられたり

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、檢分の爲め
檢分の爲め一昨三十一日釜山に向け出張したるが四日歸任する筈なりと

一、柳原警長の出張
南部警察署長柳原注樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

一、原島技師の出張
農商工部農務課の原吉氏は警察用物視察の爲め廿三日中東京

一、殺鳥の出張
殺鳥技師は釜山にて建築さるべき牛疫檢疫所出張すべしと

一、熊谷民長の歡迎會
既報山口高等商業學校職員以下七十餘名は滿韓修學旅行として三十一日入京原金支店に滯在中なるが熊谷民長は昨夜七時半より右一行を民團役所樓上に招き韓國牢憲に付談話會を催せりと

入院隨意

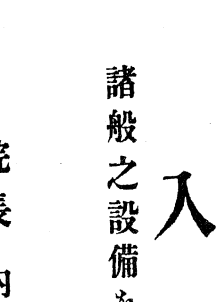
諸般之設備を改善して一般診療に從事す

漢城病院

院長　內科部長　安藤一郎
外科部長　醫學士　鶴田善重
產科婦人科部長　醫學士　山添喜代藏
耳鼻咽喉科部長　石田誠

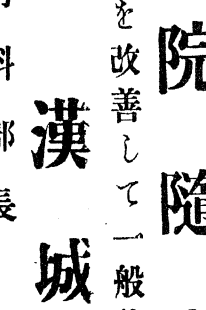
診療時間每日自午前八時至午后二時
但每日曜大祭日休業
眼科、花柳病科專門醫は不日着任仕候

入院隨意



京城永樂町
電壹八九番

建築所
工事ハ札ニ附ス詳細ハ二日以後ノ官報又ハ當所ノ掲示ヲ見ヨ
右六月八日



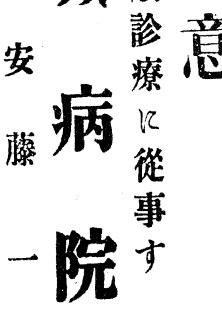
目品略營業概

文房具學校用品　和洋帳簿諸紙類
卷紙封筒手帳類
帽子洋傘クツ鞄
洋服附屬品一式
メリヤス類一式
毛布膝掛馬車掛
石鹼香水齒磨類
タオル、ハンカチ
手袋沓下袋物類

●地方よりの御注文は代金引換小包にて發送仕候●

●京城市內の御注文は遠近に不拘早速持參可仕候●

正札　一　池田長兵衛
官衙、陸軍、銀行、會社御用達
京城本町四丁目
電話二百〇六番
和洋雜貨卸小賣商
しな引



弊樓儀開業以來四方御客樣方の御引立に預りまして家運益隆盛に趣き錦に五週年を迎ゆることとなりました、就ては聊か自祝の印として六月一日より玉代、糸代、料理代等一切大に値下げの上精々勉强致すことゝ定めました、願くは舊に倍して御來車の程希上ます

新町遊廓　井門支店
（電話三五九番）

手彈石炭　麻療療特別精白米
米利堅粉菓子粉洗粉諸粉
櫻麥挽割麥豆類其他穀類
宅色名會社麗淸酒特約
茂木醸造木白印醬油特約
大日本麥酒會社製品特約
洋酒洋菓和洋罐詰瓶詰類
宇治銘茶紅茶コーヒー類
味噌漬物砂糖乾物海產物
眞綿小袖綿延綿蒲團綿類
雨傘麻裏足袋石鹼諸雜貨

京城明治町一丁目
牧野豐田商店
附屬工場
牧野電力精米所
牧野電力製粉所
（電話二一五三番）

明治四十二年六月二十日　第三種郵便物認可　新報

各種洗濯石鹸　專門製造販賣

用途　陸軍、鐵道、船舶、鐵工、鑛山、水道、諸工業用

京城旭町一丁目（電話九七三番）

朝日石鹸製造所

▲無料紹介欄▼

人事部

●求職　普通教育有り職業を探ばゝ至急雇れたし　銀鏡見習生十四歳より十八歳迄一名入用希望者は來談あれ　氏名在社（二八九）

●募集　大和町二の一六八　技藝女塾

●給仕　年齢十四五歳の者入用　小川勝平事務所（二六八）本町一丁目

●被雇度　年廿五体強中等教育有り簿記精通不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有　氏名在社（二七五）

●被雇度　年二十八身体強健多年建築請負業従事請負業主に雇はれたし給料不論確實雇賃人あり　氏名在社（二七三）

●被雇度　年廿五体強中等教育有り簿記精通給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有　氏名在社（二七五）

●被雇度　土木建築及官衙用達業に多少經驗を有する身元確實なる者同業者に被雇たし高給不望　氏名在社（二七六）

●求職　年廿五普通教育有り婦女會社病院商店の事務員又奥機ある家庭の上女中に雇れたし保證人あり　氏名在社（二七八）

●開校　私立裁縫徒弟學校開始す希望者は至急申込あれ　規則進入用の鄙劵二錢送付す　鶴山本町三の六六　吉村又平治

物件部

●告發城生　紙上へは匿名にても差支なけれども依賴狀には必ず匿名にては他人閲合來りし際答ふるに由なき次第に付眞實の氏名御通知まで掲載見合す（孫）

●注意　紹介依賴者にして電話を有せざる御方は依賴の際鄙劵封入有りたし左なくば紹介の通知をなすに由なし（郵）

廣告

●貴家　龍山元町電車通（ランカン局隣）地所七十坪韓家屋十八坪地所共格安賣たし　氏名在社（二七〇）

●求池所　大和町附近高燥にして眺望好き二三百坪の地所を格安にて讓受けたし　氏名在社（二七〇）

●氷店資却　氷店道具一切附屬品共資却し度希望の方は電話千百八十三番へ

●求借家　韓人家屋にて人通り繁き横丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む　社内附木（二七二）

●貴家　龍山元町電車通（ランカン局隣）地所七十坪韓家屋十八坪地所共格安賣たし　氏名在社（二七〇）

●求職　普通教育有り職業を探ばゝ至急雇れたし　銀鏡見習生十四歳より十八歳迄一名入用希望者は來談あれ　大和町二の一六八　技藝女塾

●給仕　年齢十四五歳の者入用　小川勝平事務所（二六八）本町一丁目

●被雇度　年廿五体強中等教育有り簿記精通給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有　氏名在社（二七五）

●被雇度　年二十八身体強健多年建築請負業従事請負業主に雇はれたし給料不論確實雇賃人あり　氏名在社（二七三）

●貴家　韓人家屋にて人通り繁き横丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む　社内附木（二七二）

●求池所　大和町附近高燥にして眺望好き二三百坪の地所を格安にて讓受けたし　氏名在社（二七〇）

●氷店資却　氷店道具一切附屬品共資却し度希望の方は電話千百八十三番へ

●求借家　韓人家屋にて人通り繁き横丁にて温突五六間の二階建及平家にても至急借受たし場所太平町北米倉町附近を望む　社内附木（二七二）

●貴家　龍山元町電車通（ランカン局隣）地所七十坪韓家屋十八坪地所共格安賣たし　氏名在社（二七〇）

●求職　普通教育有り職業を探ばゝ至急雇れたし　銀鏡見習生十四歳より十八歳迄一名入用希望者は來談あれ　大和町二の一六八　技藝女塾

●給仕　年齢十四五歳の者入用　小川勝平事務所（二六八）本町一丁目

●被雇度　年廿五体強中等教育有り簿記精通給料多額不望會社商店銀行等被雇たし確實保證人有　氏名在社（二七五）

●被雇度　年二十八身体強健多年建築請負業従事請負業主に雇はれたし給料不論確實雇賃人あり　氏名在社（二七三）

●被雇度　土木建築及官衙用達業に多少經驗を有する身元確實なる者同業者に被雇たし高給不望　氏名在社（二七六）

●被雇度　年廿五普通教育有り婦女會社病院商店の事務員又奥機ある家庭の上女中に雇れたし保證人あり　氏名在社（二七八）

●開校　私立裁縫徒弟學校開始す希望者は至急申込あれ　規則進入用の鄙劵二錢送付す　鶴山本町三の六六　吉村又平治

●告發城生　紙上へは匿名にても差支なけれども依賴狀には必ず匿名にては他人閲合來りし際答ふるに由なき次第に付眞實の氏名御通知まで掲載見合す（孫）

●注意　紹介依賴者にして電話を有せざる御方は依賴の際鄙劵封入有りたし左なくば紹介の通知をなすに由なし（郵）

熟誠敏速　法律事務ヲ取扱フ（紹介ヲ要セス）

辯護士　岡田榮

京城旭町一丁目六十七番戸（電話三九八番）

日通

貨物運送取扱　危險物保證附貨物引換發行　運賃付送金代品　取扱貨物運送　關税運賃

內國通運株式會社

京城南大門驛前　電話七〇八番　京城支店

仁川驛前　電話五一一番　仁川出張所

草梁驛前　釜山出張所　釜山驛前電話六一六番　草梁驛前電話五三七番

龍山驛構內　龍山派出所　電話二〇六番

消毒　京城大和町壱丁目　元祖　純粗石炭酸　殺菌　電話一三三

株式會社　第一銀行韓國總支店

電話番號　第一三一番　國庫部、發行部、營業課、當直用　第三三一番　國庫部、發行部、營業課用　第六一一番　支配人、測査部、文書課用　第六二一番　用度係、分析所用　第三三三番　臨時建築部用

本店　東京市日本橋區兜町

支店　大阪、兵庫、京都、神戸、名古屋、四日市、下關

出張所　仁川、大阪西區、東京新大阪町、横濱、釜山、城津、元山、鎮南浦、咸興、木浦、群山、馬山、鋏城、平壤

韓國支店　清國出張所　安東縣、大連、營口、天津、牛莊、漢城、仁川、釜山、元山、津、南浦、咸興、馬山、鋏城、平壤

東京火災海上運送保險株式會社

明治廿年七月創立　資本金一千萬圓

●京城代辯店　本町四　山口吳服店　電話九

●事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番

右の外内外各地重要なる場所には爲替取引先あり

營業事務に關する御用向は當店營業課長に御相談被下度候

清心丹　清心丹　清心丹　清心丹　清心丹　清心丹　清心丹　清心丹　清心丹　清心丹

は旅行携帯藥として缺く可からざる良藥にして滋車流船の忌ひを快よくすること妙

は高尚なる香氣を含み口熱惡臭を排し咽喉を潤し音聲を清朗ならしむる特効有を以て發聲家其他交際場裡の必携劑なり

は遠足之際口に含みて走るときは息切することなし

は風土變り水あたり等の恐れあるときは時々二三粒づゝ用ゆれば其患ひなからしむ

は暑さ寒さあたりにて下痢腹には三十粒乃至四十粒を噛み碎き三四回用ゆれば必ず奇効あり

は傳染病流行地に於ては常に二三粒噛み碎ひて大に豫防す

は人魚の商標と高木與兵衛の名稱へ御注意之上御求めを乞ふ

は過酒過食之停滯を解し消化を良好ならしむること妙

は定價金一圓（箱入）五十錢（紙包）丹錢十五錢（壜入）十二錢（瓶入）

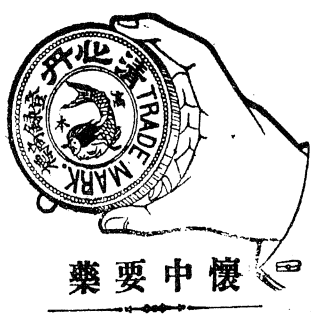
製造本舗は東京市日本橋區元大坂町八番地にして取次は番國到る所の有名藥店にて販賣す

新井藥房本店　新井藥房第一分店　新井藥房第二分店

京城南大門通三丁目　電話（九百四番）　京城本町三丁目（電話四七八番）　京城南大門外

懷中要藥

代理店



卸　京城本町五丁目　富士の里茶舗　電話九九七番

小賣

新茶賣出し

薩摩琵琶研究會

右は今般左記の處に於て來る六月一日より新進を教授す希望の方は至急申込あれ

京城黄金町一丁目十八番戸　會主　有馬良熊

金水舍製ラムチ、ミカン水

一衛生　ラムチ、ミカン水

昨年の通り純良なるラムチ、ミカン水製造販賣仕候間先御愛飲を乞ふ　京城大和町二丁目

漢城製藥所長藥劑師　渡邊悅之輔

九州セメント

上等生石灰販賣

京城南山町一丁目電話三四四番

山村商店

龍山元町一丁目電話三四八番

中村運送店

東京火災海上運送保險株式會社

資本金一千萬圓

●事務所　京城本町二の三電話一〇六〇番

▲清潔の下宿▼　客室の清潔と調理の美味と御扱の懇切とを特色として下宿營業仕候間賑々敷御投宿の程御願申上候　壽町二丁目一番戸（元花屋跡）　かめ屋

▲懇切の下宿▼

特製御用　大新聞社　特定御用　牛乳　流井牧場　電話一〇五六番

工場新築落成に付當分の間三割引

油物表裝　純麻屏風　紙面漆塗表式　障子張替

滋養と牛乳　純良　京城東四軒町　牛乳　岡野牧場　電話壹〇六九番

馬車配達

衛生と消毒

三一館

美術書畫　襖、壁、天井張　京城蓮明一丁目　桂萬吉

桶類　製造大安賣　明治町一丁目横町通　矢野商店

特約販賣自製　醬油　漬物　味噌　製造元　京城本町五丁目　大上商店　（電話二一五一番）

食料雜貨、ビール、米糧、塩辛各種特約販賣　洋酒、精酢、穀物麺類銘茶、鑵詰、乾物荒物

尚御望に依り商品切手調進仕候

龍山　萬長旅館　東山の手柳町　電話四〇〇番

營業科目　活版活字鑄造　石版銅版　木版彫刻　ポンタイプ版　寫眞版　醫機械　製本裝釘

日韓印刷株式會社　本社　京城明治町三丁目三番　電話（三二三番）　東京出張所　東京橋區南鍋町一ノ十　電話新橋（三九六二番）

鴨綠江特種木材九州セメント取次販賣　末口一尺八寸以上長さ五間迄其他各種材　京城旭町三丁目　建築業　柴田芝六　電話五六八番

◎氣候變化＝牛乳

◎牛乳＝純良＝消毒

韓國畜産株式會社　西大門外（電話八八番）

★株式會社百三十銀行　韓國總支店　京城本町二丁目十五番戸　電話五十八番

資本金五百萬圓　頭取　安田善三郎

爲替取組先

幾内　大阪、京都、西陣、伏見、奈良、郡山、八木、高田、田原本、堺、貝塚、岸和田、御影、兵庫、神戸、平野、住吉、茨木、下市

東海道　東京、横濱、大磯、甲府、靜岡、名古屋、半田、熱田、四日市、津、山田、桑名、松阪

東山道　彦根、八幡、大津、長濱、大垣、岐阜、前橋、伊勢崎、宇都宮、福島、若松、青森、秋田、能代、七崎、高崎、

北陸道　小濱、福井、敦賀、越江、金澤、大聖寺、富山、伏木、新潟、

山陰道　宮津、舞鶴、新舞鶴、豐岡、鳥取、米子、境、松江、八幡濱、川、宇和島、今治、

山陽道　姫路、西大寺、笠岡、高梁、玉島、福山、糸崎、府中、尾道、三原、廣島、岩國、山口、柳井、平生、下關、萩、德山、小郡、長府、網干、牛窓、味野、岩見、岡山、

南海道　鷹、串本、御坊、田邊、新宮、和歌山、尾州、本、鹽釜、德島、善通寺、九龍、

西海道　松山、八幡濱、川、宇和島、今治、

條、松山、三津、博多、福岡、若松、久留米、若津、中津、小倉、門司、行橋、後藤寺、佐伯、別府、大分、伊萬里、牛津、長崎、佐賀、熊本、宮崎、鹿兒島、八幡、長洲、

北海道　函館、小樽、札幌、

台灣　臺北、臺南、

清韓國　仁川、釜山、元山、鎮南浦、平壤、木浦、羅州、大邱、群山、安東縣、晉州、馬山、

銀行一般の業務精々便利取扱申可候

仁川海岸通　郡回漕店　電話三九番

●釜山長崎門司神戸行

山東丸　六月　六日午後三時出

●大連、太沽、牛莊行

高砂丸　六月　日正午時出

●大連、大沽、牛莊行

山東丸　六月二十二日前五時出

●大連、大沽、牛莊行

酒田丸　六月　十七日正午出

●釜山出帆、元山、清津、浦潮行

立神丸　六月十六日午後

御乘船ノ際ハ殺風波止場ヨリ本船迄御送迎船ニテ御送可申候

注意　船出帆ノ約五十分前ニ解纜ノ事

●新聞廣告　▲一枚位二圓▲一ヶ月前迄埋置　▲三ヶ月前金壹圓▲六ヶ月前金貳圓▲無枚一ヶ月金

●廣告料　▲五號活字十九字詰一行一円▲十行一円　廣告五號活字十九字詰一行金五十錢　▲特別

發行兼編輯人　秋山忠三郎　印刷人　高木久馬太

京城西部西小門通　發行所　京城新報社　電話六六三番